

Jaspersoft による SAP データの活用

企業はこれまで SAP を使用してビジネスプロセスを集中化・自動化することに膨大なリソースを投入してきました。SAP 社によると、全世界の国内総生産(GDP)における取引の65%以上がSAPのエコシステムに含まれるものです。しかしながら、SAP のシステムの中にあるデータを利用することに関して、企業は高いハードルに直面し、投資に見合う価値を引き出せていません。SAP データの持つ価値を高めるものとして SAP 社が提供するソリューションはどれも高価で、フレキシビリティに欠け、使いにくいものばかりでした。かろうじて使えるものに ABAP クエリと BW レポートがありますが、どちらもインタラクティブ性に欠け、導入に制限事項があり、SAP とそれ以外のデータソースからのデータを統合するのが容易ではありません。

Jaspersoft の SAP 向けソリューションは、データ統合およびレポーティングに対する要求に応えるもので、SAP ビジネスユーザーのためのフレキシブルで、実績があり、低価格でのソリューションを可能にします。Jaspersoft ETL ならあらゆる SAP モジュールへの接続が可能で、SAP およびそれ以外のデータソースを統合して単一のデータマートやデータストアを構築することができます。Jaspersoft の実績ある低価格のレポーティングソリューションにより、ピクセル単位でフォーマット可能なレポートから、アドホックレポート、インタラクティブなダッシュボードまでを含むさまざまなフォーマットでコンテンツを提供することが可能になります。

Jaspersoft ETL の SAP 向け機能には以下のようなものがあります。

- a. 読出しおよび書込み用コネクタ – これらのコネクタにより、SAP に対してインとアウトの双方向でのデータ加工、および SAP とそれ以外のシステムとの間でのデータ加工を開発・配備することができます。
- b. 関数呼出しおよびデータ操作を容易にするビジュアルなインターフェースでのウィザード。
- c. テーブル、RFC、BAPI などのあらゆるレベルでの SAP ネイティブサポート。

Jaspersoft ETL の SAP 接続機能

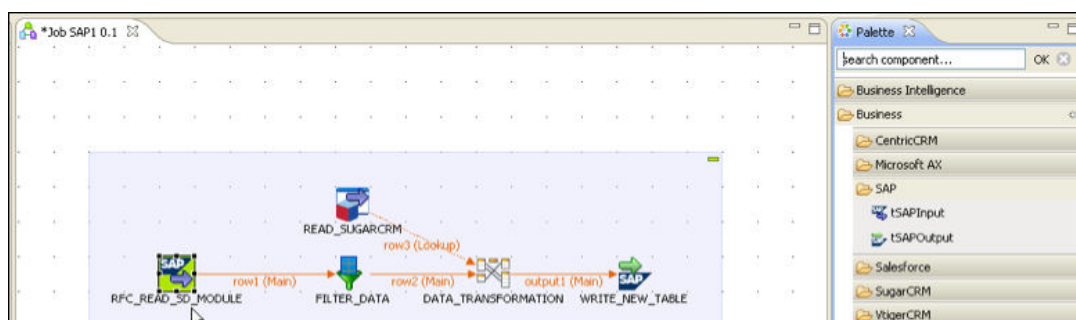
Jaspersoft ETL の各種ボックスコンポーネントを使用すると、SAP システムに対してデータの読出しおよび書込みをすることができます。SAP 専用コンポーネントを使用することで、あらゆる SAP システムに対するデータの読出し、加工、およびアップロードのためのプロセスを必要な数だけ作成することができます。SAP 用の読出しおよび書込みコネクタはパレット内に 400 個以上ある各種コンポーネントと組み合わせることが可能で、複雑なデータ処理タスクを実行することができます。

Jaspersoft ETL の SAP コネクタは、SAP と互換性のあるコンポーネントおよびアプリケーションの Java による開発を可能にするために SAP が提供するミドルウェアコンポーネントである SAP Java コネクタをベースにしています。ゆえに、テーブル、RFC、BAPI を介してあらゆるレベルで SAP へのアクセスが可能です。これにより、SAP 環境におけるあらゆるデータ関連モジュールとの完全な接続性が保証されています。

tSAPInput コンポーネントは、SAP システムに格納されているデータのすべて、または一部を抽出するために、テーブルまたはストラクチャを読み出します。このコンポーネントは SAP のインターフェースおよび関数を利用して、必要とするデータを取り出します。対象となる SAP ストラクチャに接続し、必要な関数を呼び出し、必要なデータを抽出するためのパラメータをコンポーネントに設定することができます。RFC、BAPI、または SAP システムの関数ライブラリ内のカスタム BAPI のいずれの関数でも呼び出し可能です。

Jaspersoft ETL の SAP 接続機能の特長

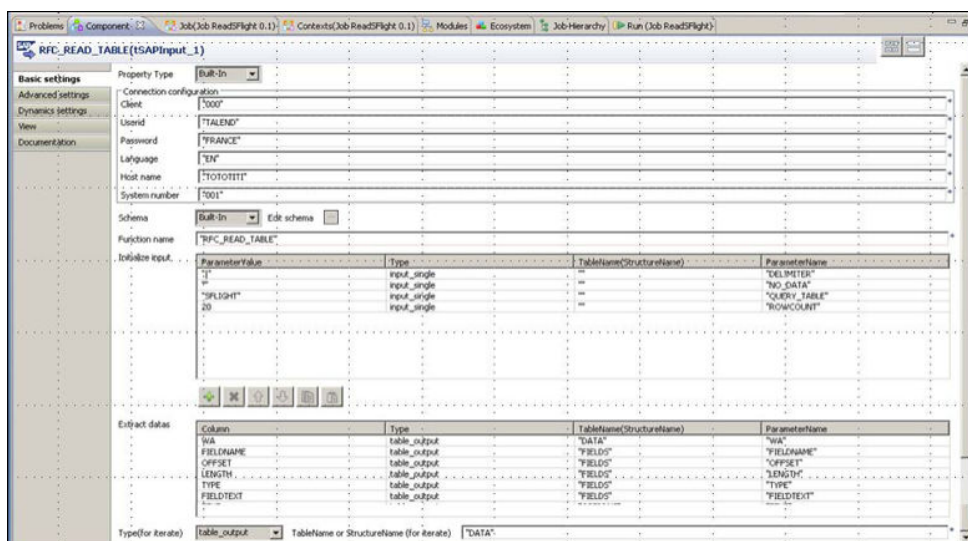
SAP 専用コンポーネントをパレットからドラッグ&ドロップするだけで、SAP システムからのデータの読出し、加工、アップロードに必要なジョブを作成することができます。



たとえば、SAP SD(販売管理)モジュールからレコードを抽出し、それをフィルタリングするというジョブを作製することが可能です。その後ジョブ内で、CRM(顧客管理)モジュールの参考情報をルックアップし、それを抽出データにマッピングして、FI(財務会計)モジュールに渡すために加工することも可能です。

SAP ストラクチャの読出し

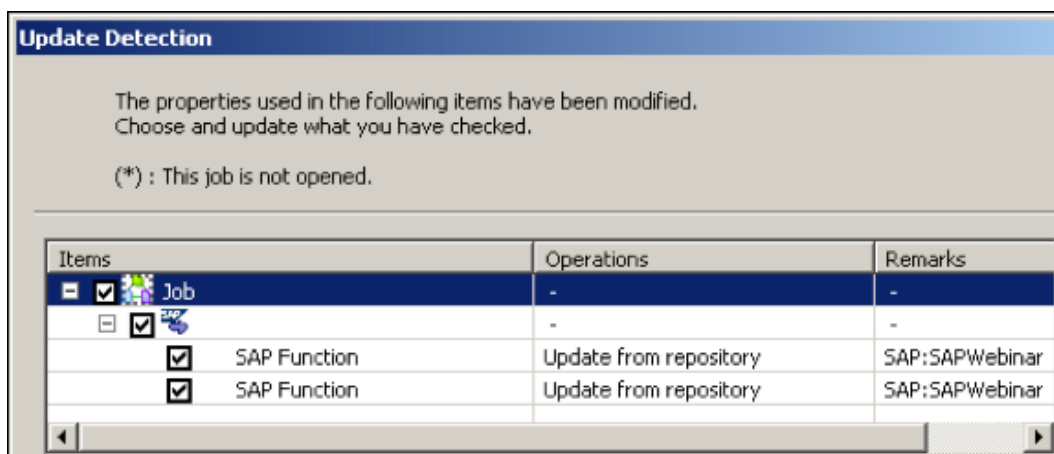
tSAPInput コンポーネントは、SAP システムに格納されているデータのすべて、または一部を抽出するために、テーブルまたはストラクチャをあらゆるレベルで読み出します。このコンポーネントは SAP のインターフェースおよび関数の各種機能を利用して、必要とするデータを取り出します。



再利用による生産性向上

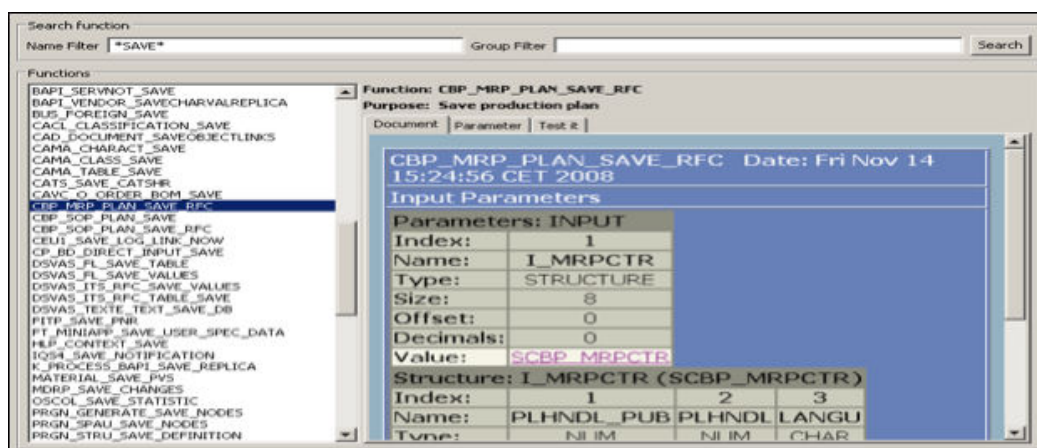
SAP ウィザードを使用すると SAP の読み出しおよび書き込みコンポーネントの設定作業が大幅に簡素化されるので、開発者はデータ統合作業に集中することができ、必要となるコンポーネントをいちいち組み合わせる作業に貴重な開発時間を費やすことがなくなります。これにより、開発者がおこなった接続設定および関数呼び出し設定を保存することができ、再利用が可能になります。

Jaspersoft ETL の最もパワフルな機能の 1 つがコラボレイティブ作業機能で、これにより、SAP ウィザードでリポジトリに保存した設定をすべての登録ユーザーが使用することが可能になります。また、Jaspersoft ETL には、ジョブ間の依存関係を特定する影響分析機能も装備されています。本稼動後にプロセスの設定変更をする場合など、SAP 環境においては非常に役に立つ機能です。



上図に示されているように、開発者は変更点を共有設定に基づいてすべてのプロセスにプロパゲートすべきかを判断することができます。SAP ウィザードには他にも以下のような機能があります。

- ・ SAP のディクショナリにあるメタデータへのダイレクトアクセス
- ・ SAP の関数のリアルタイムテスト
- ・ BAPI 文書へのダイレクトアクセス(下図)



Jaspersoft Business Intelligence の特長

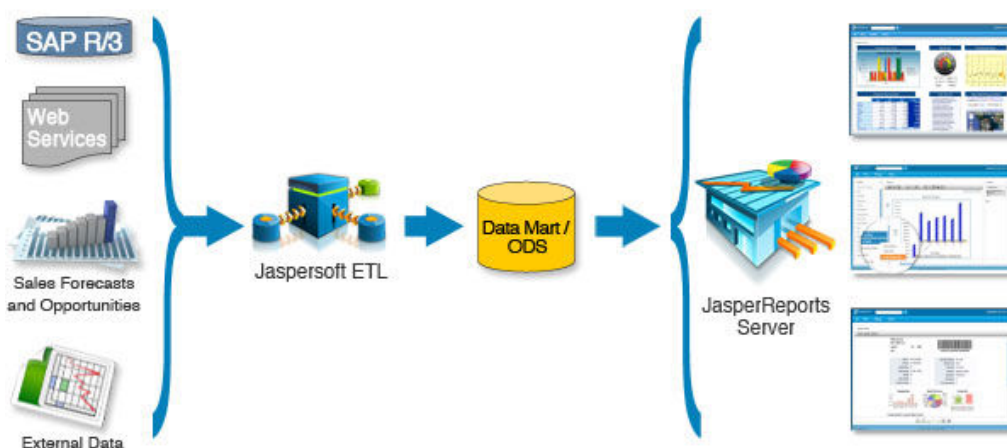
高度なフレキシビリティを持つ Jaspersoft Business Intelligence (BI) スイートを使用することにより、ビジネスユーザーは、ピクセル単位でフォーマット可能なレポート、インタラクティブなダッシュボード、インメモリベースのアドホック分析などを含む多種多様なアウトプットに、SAP 関連データを活用することができます。

主要な機能は以下のとおりです。

1. 最新かつ直感的な Web ベースのアドホックエリおよびレポート環境によりセルフサービス型の BI を実現。
2. アニメーション的にビジュアライズされたダッシュボードの高度なインタラクティブ性により、収益のサマリから個々の商品・顧客レベルの詳細情報までのドリルダウンが可能。
3. 多種多様なフォーマットのレポートを、カレンダーに基づいたインターバルで定期的に、数多くのビジネスユーザーにスケジュール・配信することが可能。

Jaspersoft BI スイートと SAP の関係概念図

下図は、SAP およびその他のシステムからデータを抽出して、それを Jaspersoft BI スイートを使用してさまざまなフォーマットでビジネスユーザーにエンドツーエンドで提供することを表わす概念図です。



結論

SAP データの抽出、加工、レポートのための業界初のエンドツーエンドでのソリューションを、オープンソーステクノロジーに基づいて提供することにより、Jaspersoft は、BI ビルダーが SAP データを活用してビジネスの見通しを数多くのエンドユーザーに従来とは比較にならないスピードでもたらすソリューションを低価格で導入・配備することを可能にします。

Jaspersoft についてのお問い合わせは

本カタログもしくは Jaspersoft に関するお問い合わせは、以下の連絡先にお問い合わせください。

Jaspersoft Headquarters

539 Bryant Street, Suite 100
San Francisco, California 94107, USA
Phone: 888.399.2199 or 415.348.2380
Email: sales@jaspersoft.com
Web: <http://www.jaspersoft.com>

Jaspersoft Japan:

ワークブレイン・ジャパン株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂2丁目12番21号
ディアシティ赤坂西館306
TEL: 03-6277-6865
FAX: 03-6277-6970
Email: contact@workbrainjapan.com
Web: <http://jaspersoft.biz>

販売代理店